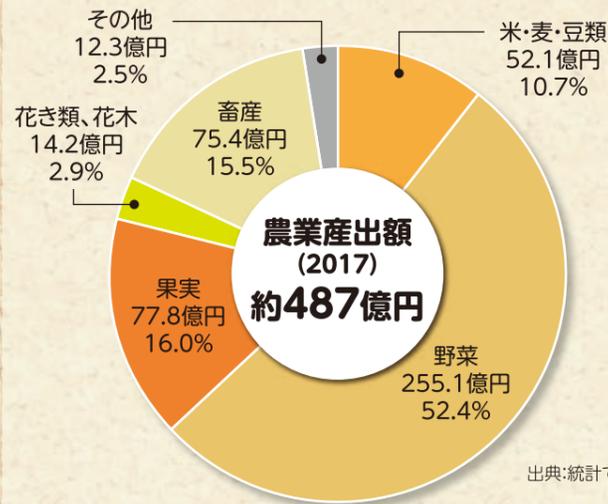
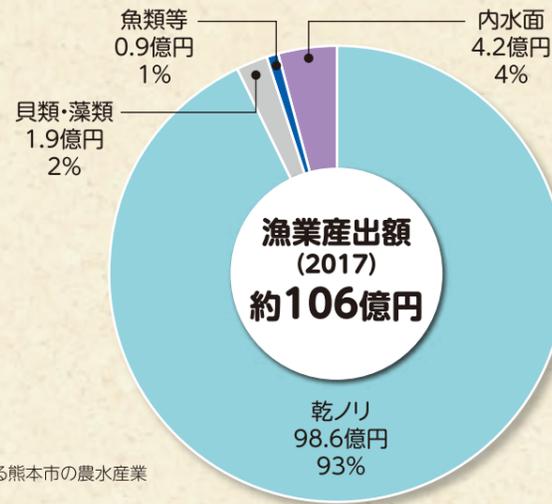


熊本市の農業産出額の構成(2017年)



出典:統計で見る熊本市の農水産業

熊本市の漁業産出額の構成(2017年)



項目	データ	ポイント
① 販売農家数(2015)	5,084戸	全国市町村第12位、政令指定都市第4位、熊本県内市町村第1位を誇ります。
② 農業就業人口(2015) [販売農家]	10,435人	全国市町村第6位と非常に多く、全国に比べて平均年齢も4歳ほど若いことが特徴です。
③ 認定農業者数(2018)	1,521経営体	認定農業者とは、市の認定を受けた、意欲と能力のある農業経営体のことで、県下一の認定数です。
④ 経営耕地面積(2015) [販売農家]	8,594ha	販売農家一戸あたりの経営耕地面積は2010年の1.57haから2015年には1.69haとなり、農地の集積・集約化が進んでいます。
⑤ 漁業就業者数(2018)	879人	熊本県内市町村第2位の人数です。

出典:2015年農林業センサス(①②④)、2018年漁業センサス(⑤)、市調べ(③)

□熊本市は農業産出額の約70%を野菜と果実が占める全国屈指の園芸産地です。特になす、すいかの大産地で、全国市町村第1位の作付面積を誇ります。西に位置する金峰山一帯では、主にうんしゅうみかんなどの果樹が栽培され、全国でも有数の産地となっています。

□水産業はノリ養殖業が盛んに営まれ、落札価格が日本一に輝いたブランドノリもあります。

熊本市の農水産物をもっと知りたい方はこちら!

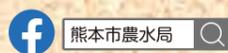
【熊本市ホームページ】

https://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=2821&class_set_id=2&class_id=159



【フェイスブック】

<https://www.facebook.com/kumamotocity.nousui/>



熊本市の上質な農水産物やイベントなどの最新の情報を、Facebookで発信しています。ぜひご覧ください!



熊本市の Agriculture & Fishery 農業と水産業

熊本市は、清らかな地下水をはじめ豊かな自然環境に恵まれ、各地域で多様な農水産業が営まれています。全国屈指の園芸産地であり、本市で生産される農産物は全国各地に出荷されています。中でも、なす、すいか、メロン、みかんは全国上位の作付面積を誇ります。また、酪農をはじめとする畜産業や有明海沿岸におけるノリ養殖業も盛んです。

このパンフレットは、多くの方々に全国有数の生産を誇る熊本市の農業と水産業について知っていただくために作成しました。みなさんの理解にお役立ていただければ幸いです。

熊本市の農水産物紹介MAP

※このマップは主要な産地や特徴的な産地を中心にイメージ化したものです。

東部

畜産や米・麦・大豆のほか、すいか、ピーマン、トマト、花きなど、多様な農業が営まれています。特に、小戸島では酪農をはじめとして、肉用牛、豚の飼養が盛んです。また、供合・秋津・画図では、ほ場整備が進み、稲作を中心に麦や大豆などが栽培されています。



西部

金峰山一帯でうんしゅうみかんなどの果樹が栽培され、果樹生産の中心となっています。平野部では水田の裏作としてキャベツやたまねぎなどが大規模に栽培され、高砂地区では「早出しれんこん」がハウスで生産されています。



南部

なすをはじめ、トマトやメロンなどの施設園芸が盛んです。特に、飽田・天明は全国屈指のなすの産地です。富合・城南では、ほ場整備の進んだ広大な水田を活かして、米・麦・大豆などの土地利用型作物が生産されています。



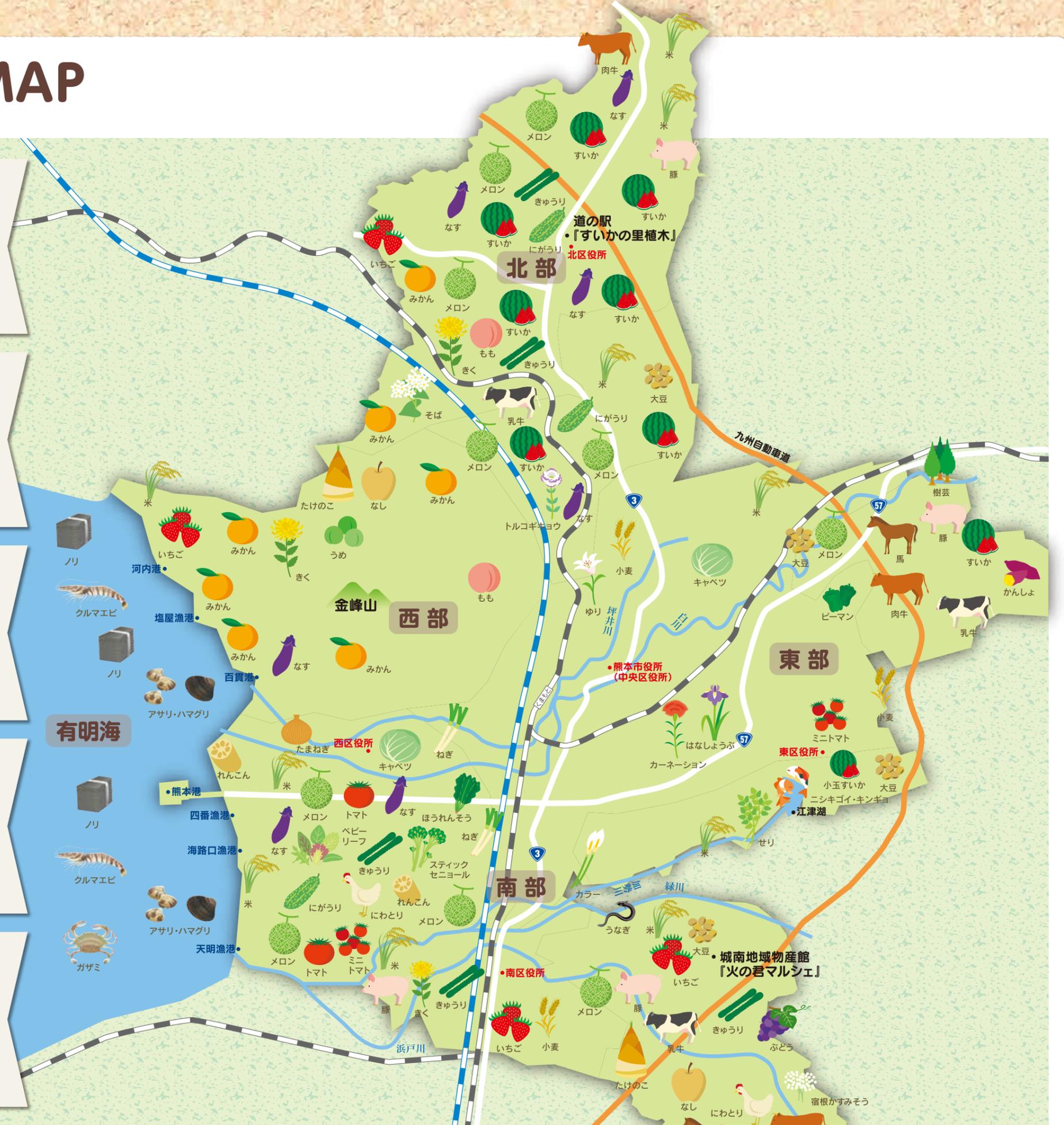
北部

全国有数のすいかの生産地です。各地の特性を生かしながら、すいか、メロン、なす、ハウスみかん、花きなどの施設園芸に加え、うんしゅうみかんなどの果樹や米の生産、養豚などの畜産も盛んで、多様な農業が展開されています。



有明海

熊本市の海岸線の長さは約22km、海域は沖合約10kmに及びます。干満差の大きい有明海特有の広大な干潟漁場、沖合漁場では、ノリ養殖が盛んに営まれ、アサリ、ハマグリ、クルマエビなどが漁獲されています。



熊本市の農水産物紹介

なす

全国市町村で第1位の作付面積を誇り、特に飽田・天明・植木などで盛んに生産され、全国各地に周年出荷されています。飽田・天明では、秋から翌年の春にかけて出荷される「冬春なす」という作型が盛んで、ツヤのある黒紫色が美しい「筑陽」が主力品種です。植木では、実の長さが60cm以上にもなる「大長なす」が出荷されています。



すいか

全国有数の産地であり、作付面積は全国市町村第1位を誇ります。特に植木・北部で盛んに生産されています。熊本のすいかは、2月下旬には出荷が始まり、ゴールデンウィークの頃に最盛期を迎え、ほかの産地よりも出荷時期が早いことが特徴です。熊本市には、道の駅「すいかの里植木」がありますので、ぜひお越しください。



トマト

トマトには、赤色を作る「リコピン」をはじめ、豊富な栄養素が含まれています。ビニールハウスで栽培され、真夏の一時期を除いてほぼ一年中出荷されています。



メロン

網目模様(ネット)が美しく、高級果物の代表格ともいえる「アールスメロン」、大衆メロンとして親しまれる「アンデスメロン」、果肉が朱色系の「クインシーメロン」などが栽培されています。



れんこん

露地栽培による年間を通じた出荷のほかに、ハウス栽培も行われており、5月中旬から6月をピークに早出しのれんこんが出荷されています。



米・麦・大豆

富合・城南・秋津などのほ場整備が進んだ広大な農地を活かして、米・麦・大豆などの土地利用型作物の生産が盛んに行われています。



ピーマン

握りこぶしくらいまで大きく成長する「エースピーマン」をはじめ、数種類が生産・出荷されています。



キャベツ、ほうれんそう

熊本市で生産されるキャベツは、巻きが緩やかな「春(春系)キャベツ」と、球がしっかり締まった「冬(寒玉系)キャベツ」に分けられます。ビタミン類が豊富に含まれているほうれんそうも生産されています。



うんしゅうみかん

河内・芳野・松尾・植木などの金峰山周辺に産地が広がっています。9月中旬から収穫が始まり、11月をピークとして年末まで続きます。露地栽培では、園地にシートを張り、水分量を調整するなど、甘いみかんをつくるためにさまざまな工夫がなされています。夏場には「ハウスみかん」が出荷され、緑の皮に、爽やかな香りと甘い果汁の「グリーンハウスみかん」が人気です。



中晩柑類(デコポン等)

中晩柑とは1月から5月頃に収穫される、うんしゅうみかん以外の柑橘類の総称です。その中でも「デコポン」の名称で知られる「不知火(しらぬい)」、「肥の豊」の生産が盛んです。「デコポン」は、なり口に高い盛り上がり、凸(デコ)を有する特徴からこう呼ばれています。JA熊本果実連が商標登録しており、一定の規格に適合した優良な物だけに「デコポン」という名称が与えられます。



いちご

露地栽培では春の一時しか実ができない植物ですが、ビニールハウスなどの施設で栽培することで、11月中旬から5月にわたり長期出荷できます。熊本市では、主に「恋みのり」、県の育成品種「ゆうべに」などが栽培されています。



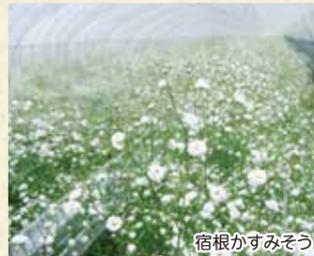
なし

生産されている主な品種は、「幸水」、「豊水」、「新高」などで、7月下旬から10月中旬にかけて出荷されます。



花き

花きは消費者のニーズに応じて多種多様な品目が栽培されていますが、主要な品目としてはきく、カラー、宿根かすみそう、トルコギキョウなどが挙げられます。



畜産

熊本市では酪農牛をはじめとして肉用牛、豚、鶏などが飼養されており、特に小山・戸島は畜産物の一大産地となっています。



ノリ

干満差の大きい有明海特有の広大な干潟漁場、沖合漁場において、ノリ養殖業が営まれています。養殖場は有明海の沖合約10kmにまで広がり、10月から翌年の3月まで、黒くて口溶けがよく、香りの高い上質なノリが生産されています。



熊本市の農水産物旬カレンダー

